

(2) 団体別の主な意見

分野	団体名	主な意見
中学校	愛宕中学校	<p>●学級数が少ないことによる学校運営上の課題、問題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の選択肢がないことや少人数であることにより部内の競争がない。 ・生徒の特性は3年間で劇的に変化することは少ないため、学習面・体力面ともに活躍できる生徒に限られたものとならないよう、教員側の意図的な仕掛けが必要となり、環境整備に多大な時間を費やしている。 ・生徒数が少ないことにより学力面・体力面・情操面ともに切磋琢磨できる環境を作りやすく、本来生徒が持っている能力を引き出すために時間を掛けて準備をする必要がある。 ・公費・学校後援会費等、予算が生徒数に比例配分されるものが多くある一方で、消耗品は生徒の人数に関係なく必要なものがあり、費用対効果が得られにくい。 ・卒業アルバム・修学旅行等の費用も高額になりやすい。 <p>●教職員が少ないことによる学校運営上の課題、問題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員定数が少ないため、一人の教員が複数の学年の教科指導を担当し、授業準備の時間が大幅に不足している。 ・各種校務分掌も同様の状況で、一人の教員が多くの校務分掌を担当することとなり、年度ごとの課題改善を実行していくための時間的なゆとりがなく、現状維持でも難しい現状がある。 ・教育委員会や各種団体からの調査依頼等も減る傾向になく、小規模校では一人の教職員に負担が集中せざるを得ない。 ・ベテラン、中堅、若手と多様な教員がそろえにくく、OJTが機能しにくい。 ・臨時的任用職員が慢性的に不足している現状で、小規模校ほど現場では休暇が取得しにくい状況があることに加え、悉皆の出張等が生徒の授業に与える影響が大きい。 ・生徒数減少により、競技として成立しない状況の部活動が出てきており、また、教員定数の減少により、顧問教職員の慢性的な不足がある。 <p>●上記の学校運営上の課題が生徒に与えている影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化や情報化が進み、変化が大きく将来が見えにくい社会に対応していくためには、多様な人材との関わりが重要で、適正規模の集団の中で学びを深めていく必要がある。 ・自治的活動である委員会活動の種類を絞る必要がある。例えば、福祉に関する委員会が設置できず、生徒会本部で担当せざるを得ない等、組織構成に偏りが見られる。 ・教職員の休暇取得による授業変更、出張者変更、部活動運営等大きな影響がある。 <p>●愛宕中学校と城南中学校が統合した場合のメリット又はデメリット</p> <p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正規模による学習環境が整い、生徒相互の学び合いにより多様な考え方や価値観などに触れる機会が増え、人間的な成長につながる。 ・学校運営上のランニングコストが減り、予算を効果的に運用でき、教育的効果の上がる施策が講じやすい。 ・修学旅行や卒業アルバムなどのコストダウンが期待でき、保護者の経済的負担が減る。 ・体育祭や音楽祭など生徒が楽しみにしており、かつ、教育的効果の高い行事が盛り上がり、思い出深いものとなる。 ・地域が一体となって統合後の学校を支えようという機運が生まれ、地域に開かれた学校づくりのきっかけとなる。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭や市さわやか相談員等が担当する生徒数という観点では、小規模校は大規模校に比べて少人数であるため、統合により一人一人の生徒や保護者の話に耳を傾けてじっくり対応する時間が減る可能性がある。 ・十分な教室数があることで電子黒板等を固定化し、生徒を移動させることにより授業が実施できるため、電子黒板等を移動させる準備の時間が大幅に減っているが、教室数にゆとりがなくなるとこのような対応ができない。 ・通学距離が広がることで、交通事故増加等の可能性がある。 ・統合には準備をしたとしても、一定期間（3年～4年程度）は擦り合わせのための時間が必要で、生徒指導上の問題が起きやすい状況は避けられない。仮に義務教育学校の設立が続くと、再度統合となり、落ち着かない状況が長期間にわたる可能性がある。
	城南中学校	<p>●学級数が少ないことによる学校運営上の課題、問題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えができない、又は限定されることにより、人間関係が固定してしまう（生徒指導上はもちろん、授業において得意な子がリードする場面が多くなる。）。 ・授業において、生徒から多様な考えが出にくい。 ・委員会活動、部活動等の数に制限が必要である（得意な分野で力が発揮できない。）。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭、文化祭などの学校行事において、切磋琢磨する場が少なくなり、教育的効果があまり得られない。 ●教職員が少ないことによる学校運営上の課題、問題等 ・ 生徒のよさを多面的に評価したり、また、生徒の困り感に寄り添ったりする機会が少なくなる。 ・ 学校運営上、仕事量は学校規模の大小で変わることはない。それ故、教職員数が少なくなることは、教職員一人一人の負担が増えることにつながる。 ・ 教科担任制で教育を行う中学校の場合、教員数が少なくなると、免許外の教科を指導する可能性がある（バランスが悪くなってしまうことが考えられる。）。 ・ 部活動の指導者確保が困難となる。 ●上記の学校運営上の課題が生徒に与えている影響 ・ 人間関係を構築（修復）できなかつたり、困り感に寄り添えなくなつたりすることが懸念される。 ・ 1、2クラスであると人間関係が固定してしまい、トラブルから脱却できないケースがあり、不登校やいじめ等の要因となることも考えられる。 ●愛宕中学校と城南中学校が統合した場合のメリット又はデメリット 【メリット】 ・ 部活動、委員会活動等において、生徒の選択肢が増える。 ・ 競い合う機会が増えることで、切磋琢磨しながら自分の力を伸ばせる生徒が増える。 【デメリット】 ・ 学区が飛躍的に大きくなるため、通学時間等の配慮が必要である。 ・ 教員が生徒一人一人を理解できにくくなる。
	愛宕中学校 P T A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛宕中学校でも教員不足であることはよく聞かすが、子どもたちに質の高い教育をするという観点から考えてもらえるとありがたい。 ・ 統合すれば生徒も増え、教職員も増えるので良いことだが、保護者からは通学路の安全確保についての意見が多く出るのはではないか。
中 学 校 P T A	城南中学校 P T A	<ul style="list-style-type: none"> ・ どちらかの中学校に統合するという事は、通学距離が長くなる生徒が出るため、登下校の安全確保が心配である。 ・ 子どもたちのことを考えれば、統合した方がよいとは思いますが、城南中学校の卒業生としては寂しい気持ちもある。 ・ 統合した方がよい。生徒数が少ないと学校に活気がないし、競争もないから駄目だと思う。 ・ 学校を統合する前に、部活動だけでも先に統合するとか、一緒に練習するなどしたらよいのではないかと。統合時に2年生や3年生である生徒にとっては、特にその必要があるのではないかと。 ・ 部活動もわだかまりなく統合できるとよい。子どもたちのことを考えれば、統合の準備をどんどん進めてほしいが、部活動がうまくやっけていけるのか心配だ。 ・ 徐々に両校の距離を詰めていけるようにしてもらいたい。今から両校で一緒にできることを少しずつやってみたらどうか。 ・ 統合は必然なので、部活動のケアや事前の交流を行いながら進めてもらいたい。小学校のうちから交流を進めてもらいたい。 ・ 部活動のことを考えると、弓道場がある愛宕中学校に統合することになるのではないかと。 ・ 愛宕中学校の方が通学距離の観点からも良いようなので、愛宕中学校に統合すればよいのではないかと。 ・ 跡地を活用する上では、城南中学校の方が使いやすいのではないかと。 ・ 龍ヶ崎小学校を卒業すると、進学先が愛宕中学校と城南中学校の2校に分かれてしまうことに、子どもたちはとても抵抗がある。 ・ 統合して生徒数が300人くらいになればよい。その後に小中一貫校ができるとよい。
小 学 校 P T A	龍ヶ崎小学 校 P T A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちのことを考えると人数が多い方がよいのだから、統合は仕方ないと思うが、統合先を愛宕中学校にするのか、城南中学校にするのかを決めるのはハードルが高いのではないかと。 ・ 4つの市街地に小中一貫校を設置しても、また統合ということにもなりかねない。つくば市などの他市では、スクールバスを使って広範囲から小中一貫校に児童生徒に集めているようだ。 ・ 統合後の跡地活用という点では、城南中学校の方が利用価値があると思うので、愛宕中学校に統合した方がよいのではないかと。 ・ 愛宕中学校と城南中学校では部活動の選択肢が少ないので、かわいそうに感じている。

	大宮小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮地区は龍ヶ崎市の端に位置しており、通学の手段が課題になる。他の地区のモデルケースがあれば示してほしい。遠方の生徒に対する安全・安心の確保について、配慮してもらいたい。 ・統合すると通学区域がかなり広がる。PTAや地域の方の活動も広範囲になる。地域の方々にも情報発信してもらいたい。 ・統合のどの段階で制服等を統一していくのか、計画の中に入れてほしい。 ・統合しても一体感が出るのに時間が掛かると思う。愛宕中学校と城南中学校の違いが際立つのはよくない。子どもたちの1年は大きい。統合となると子どもたちも落ち着かず、いじめの問題なども考えられるので、配慮してほしい。 ・コンパクトにという流れは変えられない。いろいろな意見があると思うが、回数を重ねて説明してもらおうとともに、ビジョンを示してほしい。
	川原代小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・学校までの距離が近いと指定校変更できるため、川原代小学校の児童数は減ってしまう。中学校の統合により学校までの距離が遠くなるかもしれないと考えると、難しい問題だ。 ・川原代地区の東部が川原代小学校区から抜けるとなると、ますます川原代小学校の児童数が減ることになるので、厳しい。
	龍ヶ崎西小学校 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのことを考えると、統合は進めた方がよい。生徒数が少ないと部活動も大変なのではないか。 ・愛宕中学校に統合した際、美浦栄線が完成すると、大宮地区の子どもたちは、城ノ内中学校の方が通いやすくなるかもしれない。 ・小中一貫校を最終的に目指すとしても、小学校や中学校は少しずつ統合していてもよいのではないか。まずは、中学校の統合を行い、その後、大宮小学校や川原代小学校のことも検討していったらどうか。 ・統合すれば、統合先に効率よく予算を使えるのではないか。 ・龍ヶ崎地区の統合は、多くの小中学校が絡むので、時間を掛けて進めていかないといけない。 ・統合後の名称は、龍ヶ崎中学校がよいのではないか。 ・今後、小中一貫教育が進んでいく中で、場所は愛宕中学校と龍ヶ崎小学校に集約されていくのかなと考えている。 ・小学校同士の交流なども進めていく必要がある。
地域 コミュニティ	龍ヶ崎地域 コミュニティ協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所職員が率先して子育てをしなければ、市内の子どもは増えていかないのではないか。 ・城南中学校は、地盤が良くないのではないか。 ・統合先は、立地的に愛宕中学校がよいのではないか。 ・協議会では、龍ヶ崎小学校の児童を対象としたもちつき大会やAED体験会を開催しているが、年々子どもたちの数が減っていることを懸念している。 ・愛宕中学校と城南中学校の統合については、大賛成である。 ・長戸小学校や北文間小学校が統合する際にも、「いずれ中学校も統合するんだよね。」という話は地域でもよく出ていた。どちらに統合するのが課題ではないか。一気に小中一貫校ができればよいと考えている。 ・部活動の問題もある。城南中学校から愛宕中学校にだけでなく、城ノ内中学校に指定校変更している生徒もいるようだ。 ・城ノ内中学校は部活動の選択肢が多いから仕方がないのかもしれない。卒業生にとっては母校がなくなってしまうのは寂しいことなので、生徒が減ったからという理由ではなく、説得力のある説明ができるとういと考えている。 ・市では3人目の子どもに対する経済的支援をしているが、最初の1人目を手厚くすることが大切ではないか。また、結婚しやすい環境を作ることも大切だ。
	大宮ふるさと協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮地区から愛宕中学校に通学するのは大変だと思うので、早く龍ヶ崎小学校の場所に小中一貫校を設置してほしい。その際に、小学生にはスクールバスがあるとよい。 ・交通事情からしても、保護者からのスクールバスの要望が多いのではないか。 ・小中一貫校の設置には時間が掛かるので、まずは、中学校の統合を進めるということと理解している。 ・これから子どもが増える見込みはない。子どもが少ない学校から小中一貫校にしていくという感じになるのかもしれない。統合よりも、早く小中一貫校を設置してほしいというのが大宮地区の意見ではないか。 ・統合後の跡地利用も課題ではないか。
	川原代ふれあい協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの数が減っているのだから、統合するのは仕方がない。小中一貫校は随分お金が掛かるようなので、龍ヶ崎地区の小中一貫校は、龍ヶ崎小学校の増築などで対応できればよい。 ・子どもたちには投資した方がよい。 ・川原代小学校の統合については、地域の人たちは反対している。 ・仮に城南中学校に統合すると、姫宮の子どもたちは城西中学校の方が近くなるのかもしれない。愛宕中学校に統合する方向になるのかもしれない。 ・もっと自転車で通いやすい道路になるとよい。

	龍ヶ崎西コミュニティ協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・龍ヶ崎小学校を改築して中学校ができれば、何ら問題ないのではないか。 ・両校が統合しても、4～5年後には今と同じくらいの生徒数になってしまうのだから、もう少し大きな枠で考えてはどうか。 ・一気に小中一貫校にした方がよいのではないか。 ・優先順位の問題ではないか。子どもたちのことを優先してほしい。 ・家と土地を提供して若い人を集めている自治体もある。若い人が住みやすいまちにしてほしい。
	北文間コミュニティ協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・通学距離が遠くなったとしても、中学生なら問題ないのではないか。中学校の通学距離は6km程度という基準があるのであれば、大丈夫ではないか。 ・「住みやすいまち」のビジョンとの兼ね合いを考えていくべきではないか。人口（子ども）が減っていく前提であるが、単なる中学校の統合だけでなく、いろいろな意見を聴いてビジョンを作り、それを地域に示していけばよい。 ・積極的に情報発信してほしい。 ・愛宕中学校に統合した方が、跡地の利用はやりやすいのではないか。 ・まずは、通学の安全を考えてほしい。